

横浜みどりアップ計画市民推進会議 第55回広報・見える化部会 会議録	
日 時	令和5年10月24日（火）14時00分～16時00分
開 催 場 所	市庁舎9階 共用会議室09-N12
出 席 者	奥井委員、高田部会長、高橋委員、村松委員、望月委員 (五十音順)
欠 席 者	国吉委員
開 催 形 態	公開（傍聴0人）
議 題	1 Yokohama みどりアップAction 9号原稿案について 2 その他
議 事	<p>(事務局) それでは定刻となりましたので、開始いたします。 本日は委員の皆さまにはご多忙のところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。ただ今から、横浜みどりアップ計画市民推進会議第55回広報・見える化部会を開催いたします。</p> <p>まず、本日の会議についてご報告いたします。本会議ですが、横浜みどりアップ計画市民推進会議運営要綱第5条第2項の規定により半数以上の出席が会議の成立要件となっておりますが、本日、委員定数6名のところ5名の出席をいただいておりますので、会議が成立することをご報告いたします。</p> <p>また、本会議ですが、同要綱第8条により公開となっております。会議室内に傍聴席と記者席を設けてあります。また、本日の会議録につきましても公開とさせていただきます。会議録は各委員の皆さまに事前にご確認いただきます。なお、会議録には個々の発言者氏名を記載しますので、ご了承ください。さらに、本会議中に写真撮影を行い、ホームページおよび広報誌等へ掲載することも併せてご了承ください。なお、本日は現時点で記者また傍聴の方はいらっしゃいません。ご承知おきください。</p> <p>次にお手元の配布資料について確認します。配布資料は、次第、資料1として「YokohamaみどりアップAction9号レイアウト案」、それから、参考資料として、『YokohamaみどりアップAction』1号から8号、また、皆さまの原稿案をとじた緑色のフラットファイルです。ご確認ください。事務局からは以上です。</p> <p>それでは、今後の議事進行は高田部会長にお願いいたします。高田部会長、よろしくをお願いいたします。</p> <p>(高田部会長) 皆さま、こんにちは。</p> <p>(一同) こんにちは。</p> <p>(高田部会長) 前回、橋本理事長をお訪ねして、全員参加で、とてもいい視察になったと思います。始まって5年目となり、最後の号の『Action』ということで、皆さま個人でもいろいろと活躍してこられたことを踏まえながら、さまざまな立場から総まとめとしての原稿をお書きいただいたと思います。私も読ま</p>

せていただいて大変勉強になりました。市民の皆さまにも、その熱い思いが伝わればいいと思っております。
きょうはその9号についていろいろと議論したいと思しますのでよろしく願います。それでは、事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

(高田部会長) ありがとうございます。
それでは、きょうの議題は1つです。「YokohamaみどりアップAction9号原稿案について」、検討したいと思います。
まず、皆さんに書いていただいた原稿について何かありましたらお願いします。高橋委員、どうぞ。

(高橋委員) 原稿を少し直していただいてよかったです。特に橋本理事長のお話の部分についてはあまり触れていなかったもので、ありがとうございます。

それから、私はこれを書く前、旧上瀬谷通信施設地区でGREEN×EXPO 2027が開催され、その後、GREEN×EXPOの場所の大部分を壊して大型テーマパークが造られると勘違いしていました。そこで、最初の箇所に、「まとまりのある樹林地や農地がある横浜市のみどりの10大拠点の1つに、約242ヘクタールの旧上瀬谷通信施設があります」という文章を追加し、次の文章の「GREEN×EXPO 2027はこの場所」を、「この地区の100ヘクタールを利用して2027年3月から9月まで開催されます」としてください。そうすれば、規模についての誤解が生じないのではないかと思います。

開催期間については、後ろのほうで書かれると思い、ここには入れませんでした。しかし、やはり内容的にもちょうどよいので、「開催期間」として「2027年3月から9月まで」と追加し、後ろのほうで「3月19日 金曜日から9月26日 日曜日まで」というふうにしていただいても結構です。

(事務局) 後ろで少し詳しく書くということですね。

(高橋委員) そうですね。そうすれば、文中では3月から9月まで行われることが分かればよいのではないかと思います。

(事務局) ありがとうございます。反映いたします。

(高橋委員) よろしく願います。
それから、最後の文章の「GREEN×EXPO 2027は期間限定イベントですが」は、「期間限定イベントですが」のところを削除してください。なぜなら、もう上のほうで2027年3月から9月までやることを述べたためです。

(事務局) では、そのまま、「開催後は、本博覧会」につながるということですか。

(高橋委員) そうです。「開催後は、本博覧会の理念や」につながるということですね。

ふと思ったことがあります。横浜市中期4か年計画やみどりアップ計画で「ガーデンシティ横浜」という言葉が使われていますが、私自身は、「ガーデン」という言葉は園芸や庭作りといった人工的な感じがします。また、GREEN×EXPO 2027

では、国際園芸博覧会協会が「グリーンシティ・イニシアティブ」としてグリーン社会に移行していく、なおかつ、横浜市の新しい資料にも、意外にグリーンシティに関する取組、展示などが散見されます。

従って、この「『ガーデンシティ横浜』実現の一翼を担う」という箇所を、「一翼を担い」とし、読点の後に、「自然と共にあるグリーンシティ横浜のレガシーになるでしょう」というふうにして、GREEN×EXPO 2027を目途にガーデンシティ横浜からグリーンシティ横浜への進化を示せばよいのではないかと思います。きっと、今の市長も、ガーデンシティ横浜よりもグリーンシティ横浜のほうがお気に召すのではないかと僕は思います。

従って、次年度のみどりアップ計画では、グリーンシティ横浜へのグリーントランスフォーメーションをうまく表現して、GREEN×EXPO 2027で次期横浜市中期計画へと持っていくとよいのではないかと少し思っております。以上です。

(事務局) ありがとうございます。今のご意見を反映して、また修正案をご提示したいと思います。

(高橋委員) 一応、変更したものがあるので見ておいてください。

(事務局) 後で拝見します。

(高田部会長) ありがとうございます。では、事務局のほうで、また修正をお願いします。
では、村松委員、お願いします。

(村松委員) 私は、1ページ目の扉の下の「みどりアップ計画でこれまで成し遂げてきたこと」のところを書きました。少し長かったので、縮めていただきました。また、みんながそれぞれに書いているので、つながるかが心配でしたが、うまくつながり、まとまりも良くて、大変良いと思います。

私のところはそのままでよいと思いますが、橋本理事長のお話が真ん中付近から下から10行目のところまであります。従って、「お話を伺って」の前にリーダーや棒などがあつたほうがよいかもしれません。

(事務局) ここまでが橋下理事長のお話ですというふうにするのと分かりやすいですね。

(村松委員) そうですね。

(事務局) それは委託業者に伝えて、何らかの工夫をさせていただきます。

(村松委員) よろしく申し上げます。
それから、全体の体裁はまたこれから直すと思いますが、1文ずつ段落分けされている箇所や、まとまりの大きな段階になっている箇所になっている場所など、いろいろあるので、少しそろえたほうがよいような感じがします。

(事務局) そうですね。修正させていただきます。

(村松委員) はい。

(高田部会長) その他にありますか。では、奥井委員、いかがですか。

(奥井委員) 私は「ガーデンネックレス横浜の取組」のところを書かせていただきました。まず、自分の文章の後半で修正してほしい箇所があります。細かいことですが、下から5行目にある「国際園芸博覧会」の閉じかっこがどこへいったのかが分からなくなっているのです、この鍵かっこを取って、その後は「GREEN×EXPO 2027」ですね。
また、「さらに、みどり豊かなまち横浜」の箇所も、どこでくくられているのかが分かりづらいので、この閉じかっこも取ってください。

(事務局) おっしゃるようにします。

(奥井委員) 分かりやすいように修正してください。
それから、その上に「自然、花と緑、農業」とあるのですが、他の委員の方の文章を読むと、「農」と一言で表していることが多かったようです。従って、「農業」を「農」にして、他とそろえていただくといいと思います。
最後に、他の委員の方の部分で、高田部会長に書いていただいた「最後に、Actionを起こそう！」のところ「国際花博覧会」とありますが、ここも「GREEN×EXPO」に表記を統一したほうがいいのではないかと思います。

(事務局) そうですね。「GREEN×EXPO 2027」の表記を加えてもよいでしょうか。

(高田部会長) あったほうが分かりやすいと思いますね。

(事務局) では、そこは統一いたします。

(高田部会長) それでよろしいですか。

(奥井委員) 大丈夫です。
それから、さっき、村松委員がおっしゃっていた部分については私も同じ意見です。下の何行かが村松委員ご自身のご意見で、上の部分は橋下理事長のお話のまとめになっているため、「ここまでは橋下理事長」というふうを書くなど、分かりやすいほうがいいのではないかと感じました。
また、私たちの写真をこんなにたくさん使っていただいているのかと思いました。私たちが写っているものが多いと思いませんか。

(事務局) ぜひ、そのあたりもご意見をいただきたいと思います。

(奥井委員) もっといいお花の写真でもあれば、そのほうがいいのではないのでしょうか。

(事務局) 表紙は委託業者に選んでもらっています。

(奥井委員) 一般公開してよろしいのかと思いますが、そこはお任せしますのでよろしくお願いします。以上です。

(高田部会長) ありがとうございます。

私のところは短くして、このぐらいだろうとは思ったのですが、古くからある横浜市の取組が本当に素晴らしいため、最後にそれを書きたいと思い、つらつらと書いて、そのままお出ししたという状況です。従って、そこは加工してシンプルにしてもらい、先ほどご説明があったように、裏表紙に歴史的なことをビジュアルで載せていただくのでよいと思います。

ひも解くと、開港してすぐの頃、また、関東大震災後もいろいろな取組や対策が実施され、どんどん新しく変わっていったというようなことが書いてありましたので、表にさせていただいてよかったですと思います。

また、全体的なところで、「里山ガーデンで考えるみどりアップ計画のこれまでと今後」をはじめとした、各パートの表題はこれで問題ないですか。委員の皆さんに書いていただいて、構成がまとまってきた今の時点でもう一度、これでよいかどうかを確認してほしいと思います。

(村松委員) もう1点よろしいですか。

(高田部会長) はい。

(村松委員) 裏表紙の左側の囲み、「ガーデンネックレス横浜」の内容は奥井委員が書かれたところと少し重複しているような感じがします。奥井委員が理念、時期など、概要的なことをしっかり書いてくださっているので、裏表紙の囲みには、例えば、去年の実施カ所数、参加者人数など、行政しか分からないような具体的なデータがあると、受け取る市民の方も分かりやすいと思います。

(事務局) ありがとうございます。そこは再度、検討いたします。

(高田部会長) 何をやっているかが具体的に変わったほうがいいですよ。

(村松委員) はい。

(事務局) どこに行けば、そういうものが見られるかということですか。

(高田部会長) そうですね。

(高橋委員) ここの写真は山下公園のだと思いますが、そういうものも少し入れておいたほうがいいのかもかもしれません。そして、山下公園の写真を入れるならば、そのキャプチャーも入れたほうがいいのかと思います。

(事務局) そうですね。

(村松委員) あるいは、開催場所がネックレス状になっているならば、地図でもよいと思います。

(事務局) そうですね。この件については、ガーデンネックレスの担当事業課とも調整して、もう少し分かりやすくなるよう修正いたします。

(高橋委員) もう1つ、よろしいですか。

	<p>(高田部会長) はい。</p> <p>(高橋委員) 文章の提案です。最初の村松委員のところと「最後に… Actionを起こそう！」のところに「森ボランティア」という言葉が入っていますが、「森づくりボランティア」にしたほうがいいのではないかと思います。</p> <p>(高田部会長) 「森づくりボランティア」ですよね。</p> <p>(高橋委員) はい。そう変更したほうが、今後、「森づくりボランティア」を募集する際に、そのキーワードがヒットし、興味のある人は、横浜でさまざまなことが行われていることが分かると思います。</p> <p>(事務局) ありがとうございます。修正いたします。</p> <p>(高田部会長) 今回はサイズが少し大きいのか、全体的に少し文字が多い感じがします。今回は総まとめなので、じっくり読んでいただくという意味でそれもよいとは思いますが、手にした人が読むところまでいくのが少し心配です。従って、いつも入れているアイコンなどを入れて、少し色を付けたり、表題部分にもアクセントのようなものを付けて、もう少しイメージが湧くようにしていただくとよいと思いますが、いかがでしょう。少し寂しい感じがします。</p> <p>(奥井委員) 確かに文字が多めですね。</p> <p>(高田部会長) 今、原寸大の見本を回していますが、文字が多いです。</p> <p>(事務局) そうですね。</p> <p>(高田部会長) 実物のサイズはもう少し大きく、字も大きくなるのですが、字が目一杯に詰まって本のような感じになっていることに変わりはありません。そのため、個人的にはそのあたりをどうにかしたいと思っています。</p> <p>(奥井委員) もしくは、重複している文章をもう少し削って、文章自体を思い切って短くして、葉っぱーちゃんの絵を入れたりしたほうが見やすく、手に取りやすい感じですね。</p> <p>(事務局) 葉っぱーちゃんの絵ですか。</p> <p>(奥井委員) 本当に文字ばかりがガツンと来る感じですね。</p> <p>(高田部会長) 「みどりアップ計画のこれまでと今後」というタイトルで始まっていて、「これまで成し遂げてきたこと」という部分はいいと思います。その次に「ガーデンネックレス横浜の取組」、「里山ガーデンを通じた花育・食育」があり、それらをやりましたという内容です。そして、最後に「横浜の緑の今後」となっています。みどりアップ計画の中身については、中心的な活動としてこの2つの取組を説明して、その前後はこれまでとこれからという感じになっています。従って、そこを区別するために、アイコンでくくっていただくほうがいいかもしれません。</p>
--	---

	<p>(事務局) 文章のカテゴリーが分かるようなイメージが必要ということですね。例えば、ガーデンネックレスについては里山ガーデンのお花、「みどりアップ計画で成し遂げたこと」については、歴史を示すアイコンとなると少し難しいのですが、もう少しみどりアップ計画の取組を表すアイコンというところで検討して追加いたします。</p> <p>(高田部会長) そうすると、意味合いがはっきりしてくると思います。</p> <p>(事務局) 今、頂戴したご意見に従って、重複部分をもう少し削ること、アイコンで意味合いをはっきりさせることについては事務局で調整いたします。 また、それぞれ文章のキャッチコピー部分に関しては、最初に事務局で作ったままのものです。皆さんの原稿の内容に沿うような形で修正いたしますので、ご意見があればお願いします。</p> <p>(高田部会長) 大きく写真を載せるレイアウトについて、それはそれで意味があるとは思いますが、この詰まった感じをどうにかできないかと思います。レイアウトの変更について今は具体的に分からないのですが、文字が全部、同じレベルで並んでいるので、詰まったように見えるのかもしれないと思います。</p> <p>(事務局) 写真部分、文字をもう少し分散して配置するような感じですか。</p> <p>(高田部会長) そうですね。</p> <p>(村松委員) キッチンカーの並んでいるような写真はなかったのですか。</p> <p>(事務局) 今のところ、このメインページには皆さまの取材の日に委託業者が撮った写真のみを使用しています。それだけでなくてもよいということであれば、別日のキッチンカーの写真、その他に事業課から提供される写真なども使えます。</p> <p>(高田部会長) 「これまでと今後」と書いているから、里山だけではなくガーデンネックレスの写真があってもよいと思います。</p> <p>(奥井委員) ガーデンベアちゃんはかわいいので、その写真もあればよいと思います。</p> <p>(高橋委員) ガーデンネックレスのマスコットなのでしょう。</p> <p>(奥井委員) あの熊は目に付くのでいいのではないかと思いますね。</p> <p>(事務局) 里山にこだわらずに今までやってきたことが分かるような写真ですか。</p> <p>(奥井委員) はい。</p> <p>(高橋委員) ガーデンネックレスのひとつの大きなイベントがガーデンフェスタですね。</p> <p>(事務局) そうですね。</p>
--	---

	<p>(高田部会長) それから、キャッチコピーつながりで、表紙の「みどりアップ Action」の下の丸のところですが、いつもはキャッチコピーが入りますが、ここはどんなふうになりますか。</p> <p>(事務局) 皆さまには今までの『Action』をお渡ししていますので、それも参考にしながら、ここを考えていただければと思います。</p> <p>(高橋委員) もし、さっきの「グリーンシティ横浜」のところをうまく修正できたら、このキャッチコピーには、「自然と共にある未来、グリーンシティ横浜」など、GREEN×EXPO 2027とその後を見据えた感じのキャッチコピーがよいと思っています。</p> <p>(高田部会長) 「自然と共にある」ですか。</p> <p>(高橋委員) 「自然と共にある未来」です。「グリーンシティ横浜」の「グリーンシティ」を「ガーデンシティ」にすると、少し意味合いが変わってきます。</p> <p>(高田部会長) ガーデンだけではないということですね。</p> <p>(高橋委員) そうです。その「自然と共にある」という言葉は国際園芸博覧会協会の理念、コンセプトなのです。そこが承認するGREEN×EXPO ではやはり、そういうことを発信するというふうになっています。</p> <p>(高田部会長) いつも高橋委員に考えていただいていますね。いいですか。</p> <p>(奥井委員) 私もいいですか。</p> <p>(高田部会長) どうぞ。</p> <p>(奥井委員) 今回は「つなぐ」というキーワードからガーデンネックレスの紹介をしていますが、今までやってきたこととGREEN×EXPO 2027も含め、こんなふうに横浜のみどりアップ計画が変わっていきますといった意味合いを含めて、「未来へつなぐ」、「進化していく」という文言が入るとよいと思います。さらに、「自然との共存」などのキーワードもあればよいとは思いますが、うまくまとめられません。</p> <p>(高田部会長) 「自然と共に未来へつなぐ」、そういう言葉ではないですか。</p> <p>(奥井委員) うまく一言でまとまらないですね。</p> <p>(高田部会長) 「共にある未来」は、どこかで使っている言葉ですか。</p> <p>(高橋委員) GREEN×EXPOのコンセプト、考え方のようなところにあったと思います。</p> <p>(事務局) 園芸博の基本計画を少し読みあげますと、「本博覧会の開催を機に、都市生活が自然と共にある未来について、市民・民間企業・行政が共に考え、行動を起こし、アイデアを形にする取組を展開することにより、先導的な『グリーンシティ』を提示し、日本・横浜から世界へ発信していく機会にする」</p>
--	--

	というのが、文言としては確かにございます。
(奥井委員)	例えば、「つないでいこう、自然と共にある未来」はいかがですか。
(村松委員)	私もよいでしょうか。「つなぐ」という言葉が結構多いのですが、今までの総まとめとして「つなげていこう、みどりのAction」はいかがでしょうか。
(高田部会長)	村松委員の案は「つなげていこう、みどりのAction」ですね。奥井尾委員のおっしゃったキャッチフレーズを教えてください。
(奥井委員)	「つないでいこう、自然と共にある未来へ」ですね。今一つしっくりこないですね。
(高橋委員)	「つなぐ」という意味では、村松委員の「つなげていこう、みどりのAction」もいいかもしれないですね。そして、「自然と共にある未来」という、そういうふうな感じですね。そういう活動をして、自然環境、自然の都市生活やグリーン社会を目指すことにつないでいくアクションというような言葉になれば、『みどりアップ Action』のテーマに合っているかもしれないですね。
(高田部会長)	そうですね。「アクションを起こしましょうよ」と言っている広報誌なので、「それをつなげていきましょうよ」ということですよね。そこには「自然と共にある未来がありますよ」ということで、どちらかは使ったほうがいいですね。「つなげていこうみどりのAction、自然と共にある未来へ」ですか。
(奥井委員)	それならば、「へ」は要らないですね。でも、村松委員のおっしゃった「つなげていこう、みどりのAction」はいいですよ。
(奥井委員)	もし、入れられれば、下にリーダーを入れて、「自然と共にある未来」でもいいかもしれないです。
(高田部会長)	では、「つなげていこうみどりのAction」ですか。
(村松委員)	「つないでいこう」ですね。
(高橋委員)	村松委員は最初、どちらでしたか。
(事務局)	最初は、「つなげて」ですね。
(高田部会長)	「つなげていこう」。
(奥井委員)	どちらかでよいと思います。
(高橋委員)	「つなげていこう」のほうがもう少しポジティブかもしれないですね。
(事務局)	これは個人的な感覚ですけども、「つなげて」だとバトンリレーのようで、「つないで」だと並列的に輪を作るようなイ

メージはありますね。

(高田部会長) 「つないでいこう」は、続いていくような感じですか。

(奥井委員) どちらもありますよね。

(村松委員) 「つなげる」は少し積極的な感じがします。

(奥井委員) 「つないで」だと、やっぱりガーデンネックレスなど、輪のような感じですね。「つなげて」だと、過去から未来のような感じがあるので、どちらも意味合いとしてはいいと思いますね。

(高田部会長) 自分がやるという能動的な感じは「つなげていこう」のほうですか。

(高橋委員) 自分としては、「つなげていこう」とすると希望を表しているかもしれないですね。

(高田部会長) では、「つなげていこう」でいかがでしょうか。

(高橋委員) そうすると、次の委員の人たちがそのままつないでくださるかもしれないですね。

(高田部会長) そうですね。

つないでくださいねと、そんな意味合いもありますよね。では、キャッチフレーズは言葉で「つなげていこう、みどりのAction」ですね。

(事務局) 分かりました。

(高田部会長) それから、私が書いた最後のところで「アクションを起こそう」と皆さんに呼び掛けたのですが、その呼び掛けに対して、「では、どうしたらいいの」という回答編も載っているといいと思います。一番いいのは、ここを見れば、3本の柱のそれぞれについて何かしらのアクションが載っているというように、それぞれ関心のある場所から入りやすくするようなアイコンをどこかに載せたいなと思っています。

いろいろなところに様々な誘い文句や説明などがあると思いますが、そんなにたくさんは載せられないと思うので、一番入りやすく、分かりやすいものをそれぞれの柱について1つずつ載せたらいかがでしょう。

例えば、私が会員になっている森づくりボランティアに関して申しますと、お知らせのニュースレターが来ます。結構いろいろなことが書いてありますが、ここにニュースレターのアイコンがあります。例えば、代表するようなアイコンがあつて、森についてはここを見たら、そのあとは探っていけるようになっています。

多分、「地域緑」のものだったら、「地域緑のまちづくり」を押せば、そこから、募集内容やイベントなどが載っていると思います。例えば農であれば、農のどこを見ればよいのかを入れたらいいのではないかと思います。

どれにするかということ事務局の方をお願いするのは難しいかもしれないので、「市民推進委員が選ぶお薦めはこちら」というふうにして三つ、載せたらどうかと思います。

(村松委員) 葉っぱ一ちゃんがそれを示しているといいですね。

(高田部会長) 三つのアイコンぐらいであれば、このどこかに入れていただけそうな気がします。

(事務局) そうですね。例えば、先ほど、奥井委員がおっしゃったように、重複部分などを少し削っていくと、場所ができるかもしれないので、その辺りはもう少し調整をしてみます。

(高田部会長) なるべくこの記事の近くに余白などを入れていただけたらよいと思います。

(事務局) そうですね。

(村松委員) ここの写真には私たちがたくさん出ているから、私たちを削ってください。

(高田部会長) そうですね。

(奥井委員) 1か所ぐらいは何かほかの写真に変えたいですね。

(高田部会長) そこに少しキャラクターを入れたらいいですね。

(事務局) わかりました。

(奥井委員) 追加するのは、3本柱の説明ですか。

(高田部会長) 3本柱の説明ではなくて、アクションをどこから起こしたらいいかの入り口、窓口です。

(事務局) 例えば、森づくりボランティアのウェブページをお薦めしたければ、そこに飛ぶようなURLを付けということですね。

(高田部会長) 例えば、「最後に…Actionを起こそう！」の横に「お薦めはこちら」というふうに書いておいて、森、地域緑などということでポン、ポン、ポンと載っていたらよいと思います。農に関心があれば、「農って何？」と思って、アイコンを押せば、マルシェのことなどが載っているページに飛ばせばよいと思います。

(村松委員) 森や農地のイラストの中に二次元バーコードを貼るのはどうでしょうか。

(高田部会長) イメージに二次元バーコードをいれるのですね。

(村松委員) はい。

(高田部会長) 分かりやすく、いいかもしれないですね。

(奥井委員) いいですね。野菜イラストなどですよ。

(村松委員) そうです。野菜やお花のイラストの中にあればよいと思います。

	(高田部会長) また、森の木などもいいですね。
	(村松委員) 下に「森づくりボランティアはこちらへ」と書いて、葉っぱーちゃんが喜んでいたらいいですね。
	(高田部会長) では、そこは編集のデザイナーさんをお願いしましょう。
	(事務局) デザインは対応します。 何をおすすめしたいかですね。 どこに飛ぶのが一番いいのかというところは皆さんに選んでいただいたほうがいいですね。
	(高田部会長) そうですね。どこに飛ばせばよいかは、それぞれの委員に、「ここがお薦めのページですよ」というところがおありではないかと思しますので、それを出していただくということでしょうか。
	(奥井委員) お薦めのアクションという感じですね。
	(高橋委員) みどりアップの紹介はあまり要らないようですね。
	(村松委員) みどりアップそのものではないですよ。
	(高田部会長) 具体的なほうがいいと思います。
	(高橋委員) みどりアップ計画の紹介動画がたくさんあって、そのタイトルが1つのページに掲載されていますね。
	(村松委員) 昨日、電車の中にも出ていました。
	(高橋委員) 3本の柱など、それぞれを簡単に説明していく動画です。
	(高田部会長) でも、説明を聴いてもとは思いますがね。
	(高橋委員) 動画の中ではアナウンサーが話しているようですね。
	(事務局) こちらで、全体版と柱とを分割して、YouTube向けと車内広告向けとで作成した動画がございます。
	(高田部会長) でも、アクションを起こしたいと思ったときに、それを見てすぐやる気になりますか。
	(高橋委員) だから、アクションを起こすというのではなく、みどりアップを知ってもらうためにはどこかにそういうのもあったほうがいいのではないかと思います。
	(高田部会長) それはそれで必要ということですね。
	(村松委員) 私も冒頭に、みどりアップのこれまで成し遂げてきたことなどを、橋本理事長のお話の前に入れていきます。全体の説明はむしろ最初のほうでして、後ろのほうはアクションにすればいいと思います。
	(高田部会長) そうですよ。

	<p>(高橋委員) そうすると、あの動画は子どもたちも見られる導入部になっているからいいですね。</p> <p>(高田部会長) 仕組みは分かっても、なかなか、すぐには行動につながらないと思うので、「なにかやろうかしら」と思ったときにすぐに直結しそうなアイコンも今回は欲しいということが私の思いです。 今、おっしやってみたいに、総体的なところは「成し遂げてきたこと」のほうにあったらいいかもしれないですね。</p> <p>(村松委員) 最初の左側のこの写真も少し小さくして、「みどりアップのこれまで」や「みどりアップについてはこちら」といったように、ここに入れてもいいかもしれないですね。</p> <p>(高田部会長) そうですね。ここに入れられそうですね。</p> <p>(高橋委員) 森づくりは意外と入りやすいかもしれませんね。ボランティア募集もやってもらおうといいですね。</p> <p>(村松委員) 「こういうことで参加できます」というところですね。</p> <p>(高橋委員) だけど、そういう情報は、NPOの委託を受けている事業者などのホームページに載っていますよね。</p> <p>(高田部会長) そうですね。 このニュースレターは、分かりやすくいいと思いますね。</p> <p>(高橋委員) ニュースレターならば、やっていることが分かりますよね。</p> <p>(高田部会長) 具体的にどれということを今、決めたほうがいいですか。</p> <p>(事務局) そうですね。例えば、枠組みの部分については、われわれのほうからデザインを提示できるのですが、どこに飛ぶかというところを決めていただいたほうがいいですね。</p> <p>(高田部会長) 今、決めたほうがいいということですね。</p> <p>(事務局) 委員の皆さんはそれぞれの部会にもご所属されていて、各部会の中でも柱が分かれていると思います。そこで、「私だったらここを最初のアクションにしたい」というご意見をいただければ、いったん、それでレイアウト案を作成してご提示することはできます。</p> <p>(高田部会長) 農ならばどこに飛べばよいといった案が何かありますか。</p> <p>(村松委員) そうですね。市民農園と地産地消ですね。</p> <p>(高田部会長) 地産地消ですか。</p> <p>(村松委員) はい。直売のフェアのようなものですね。</p> <p>(奥井委員) そういうホームページなどに飛ぶ二次元バーコードですか。</p> <p>(高田部会長) どのページに飛んだら、行ってみよう、やってみよう直結するかですね。</p>
--	--

	<p>(事務局) それは、今のニュアンスとしては、説明文というよりはビジュアル的に少しかわいい形でご案内するようなイメージでよろしいですか。</p> <p>(高田部会長) そうですね。そして、じゃあ、どこに飛ばすかというところですよ。</p> <p>多分、それに関心がなくても、こんなことをやっているのねということが具体的に分かるページだと、「じゃあ、他にも」と探してくださるかもしれないと思うのです。</p> <p>でも、説明で「こういう役目を果たしています」など、いろいろと総体的なことになると、「それで何ができるの」というふうになってしまいます。「どこで食べられる」など、そんなものでもいいと思うんですよ。「何しに行ける」でもいいし、「体験にも行けます」やお知らせなどでもいいですね。そういうものがたくさんあるので決めてくださいということですよ。</p> <p>(事務局) そうですね。今まで5年間、いろいろ見ていただいた皆さんの視点から選んだ、「ここから入るといいよ」というものがあると、非常に他の市民の方の手掛かりとしても分かりやすいと思います。</p> <p>行政に長く居過ぎると、そういうものが見えにくくなるような感覚が多々ございますので、皆さんの目からというのが非常に大事だと思います。</p> <p>(奥井委員) または、「横浜 GO GREEN」などのX (旧Twitter) のアカウントとかも時々見ているんですけども、割と新しい情報が得られると思います。</p> <p>(高田部会長) 今のものは何ですか。</p> <p>(奥井委員) 「横浜 GO GREEN」の旧Twitter、Xですね。割と情報が出ているのではないかと思います。</p> <p>(高田部会長) そうすると、全体も見られるんですよ。</p> <p>(奥井委員) 新しい情報を得られると思います。</p> <p>(高橋委員) 「森づくり体験会をやりますよ」など、イベントの告知もありますよね。</p> <p>(奥井委員) そうですね。</p> <p>(事務局) 「みどりアップ計画最新情報はここ」といった感じで、柱ではないけれども、「新しい情報はここだよ」というふうなお薦めですよ。</p> <p>(高橋委員) 基本的には環境創造局の情報を発信するTwitterですよ。</p> <p>(事務局) はい。みどりアップ計画以外の情報も発信しています。</p> <p>(高橋委員) 動物園のイベントなども掲載されたりするので、そこに飛ばすと楽でいいかもしれないですね。</p>
--	--

	<p>(高田部会長) 「横浜 GO GREEN」についてですか。</p> <p>(高橋委員) みどりアップ計画のところの最初のメニューから入る、そういうことはできないですか。この下のほうに何かありませんでしたか。 「理解を広げる広報」、ここにはイベントやそういう体験の情報がありますね。</p> <p>(村松委員) 「資料」というところが3つ目にありますね。</p> <p>(高橋委員) はい。</p> <p>(高田部会長) 「地域緑のまちづくり」だったら、「地域緑のまちづくり」のアドレスの二次元バーコードでもいいとは思いますがね。 「あ、こんなものがあるんだ」ということで、募集しているページにつながりますからね。</p> <p>(高橋委員) PR動画は出ますか。</p> <p>(村松委員) その関連動画ですね。</p> <p>(高橋委員) 関連動画のみどりアップ計画です。これには柱3本と、何か取っ掛かりになるような内容が含まれていますか。</p> <p>(高田部会長) それぐらい、一般の方はもう探すのが大変ですよ。</p> <p>(高橋委員) そうです。なので、みどりアップ計画の紹介文として、最初にここに飛んでいけばいいと思います。</p> <p>(高田部会長) そこを紹介するところですよ。</p> <p>(高橋委員) はい。</p> <p>(高田部会長) 説明動画は意外といろいろなところにあるんですよ。</p> <p>(望月委員) 余計なことかもしれませんが、そういう紹介ビデオを皆、絶対に見ないのですよ。</p> <p>(高田部会長) 見ないですよ。</p> <p>(望月委員) 若い人になればなるほど、絶対に見ないですね。</p> <p>(高田部会長) やりたいことがあれば、単純にどこへ行けばいいか、何をやるのかを探し当てますよね。</p> <p>(望月委員) むしろ、過去に皆さんがやっていることが参考になると思います。私が一番素晴らしいと思ったことは、この『Yokohama みどりアップAction』の2号に、「行ってみよう、体験してみよう」の二次元バーコードが入っているところですね。今はもう若い人は大体、これです。</p> <p>(高田部会長) そうですね。</p> <p>(望月委員) 40歳ぐらいまでの人はもう、ピッと二次元バーコードを読み込んですぐに体験のページにいけるようにしないと、絶対</p>
--	--

にアクションまではつながらないですね。

(高田部会長)　　そうですね。

(望月委員)　　紹介などは要らないですよ。すぐに体験ページにアクセスできるほうがいいですね。

(高田部会長)　　そうですね。

(望月委員)　　今はそういう時代ですからね。だから、そういう意味で言うと、皆さんが「行ってみよう」、「体験してみよう」というと二次元バーコードを3つ並べたところは素晴らしいと思っていました。

そういう意味で言うと、いつも一番後ろに載せている「ご意見・ご感想をお待ちしています!」というところもやっぱりアプリ二次元バーコードですよ。

(事務局)　　高田部会長のイメージとしては、そういう二次元バーコードがあって、さらにもう葉っぱーちゃんを横に置くなどして見やすくするということですね。

(高田部会長)　　そういう具体的なものがいいと思いますね。

(望月委員)　　アクションとなると、もう本当に具体的で、「これよ、これよ、これよ」ということですね、委員長。そういうふうに考えているのではないですか。

(高田部会長)　　はい。そうですね。
全部ではなくても、何か、「これ」というものが具体的に分かることによって、「あ、こういうことをやっているんだ」となりますね。

(事務局)　　あくまで市民推進委員のお薦めとしてこのような取り組みがありますということですか。

(高田部会長)　　そうですね。

(事務局)　　もしよろしければ、柱の壁を取り払って、「高田委員お薦め」、「奥井委員お薦め」という欄を作って、市民推進委員それぞれがお薦めするアクションを表示するというのはいかがでしょうか。

(高田部会長)　　委員それぞれが考えるお薦めを載せるということですか。

(事務局)　　例えば、それぞれに出していただいて、一言「森の活動をしたい人はココ」というメッセージを添えるとか。そうしたら、左側の里山ガーデンの写真を切っても、このあたりにワンコーナーを作るぐらいのつもりでレイアウトを変えてもいいと思います。

(高田部会長)　　多分、今お薦めページを探すと、皆さんも大変だと思うので、そこは宿題にしてもよいですか。

(事務局)　　そうですね。分かりました。

	(高田部会長) そんなところでいかがですか。
	(奥井委員) そうですね。個別でも、個別でなくてもどちらでもいいのですが、例えば、お店の案内に「スタッフ一押し」という言葉があると、結構、食い付きやすい気はします。
	(望月委員) 絶対食い付きますよ。「スタッフ一押し」というようなものですよね。
	(奥井委員) 「スタッフ一押し」って結構食い付きますよね。
	(望月委員) 「ナンバーワンはこれです」というふうなことですよね。
	(奥井委員) 従って、そういう持っていく方がいいと思います。
	(望月委員) 「お薦め第1位はこれ」などですね。
	(高田部会長) では、それを5人に1個ずつということですよ。それをそれぞれの委員が出しましょうということはいかがですか。
	(事務局) スペースの関係で3つに絞っていただいてもよいですし、そこはお任せします。また、もしかしたら重複してしまうかもしれないですよ。
	(高田部会長) そこは宿題として、具体的に行動が起こせる二次元バーコードですね。
	(事務局) 「委員お薦めのアクション」ですね。
	(高田部会長) はい。「ここを薦めますよ」、「一押しです」というものです。締め切りはいつですか。
	(事務局) そうですね。きょうの皆さんからのご意見を踏まえてレイアウトと文章の重複部分の削除など、いろいろとやった上で、枠組みを決めていきます。従って、並行して皆さんには考えていただきたいと思います。実際にデザイン案の枠組みをお見せするのは恐らく、11月の中旬辺りだと思います。
	(高田部会長) では、その二次元バーコードも提出は11月ですか。
	(事務局) そうですね。二次元バーコードは事務局で作成できますから、委員の皆さまからは、お薦めのページを、メールでお送りいただきたいと思います。
	(高田部会長) その期限はいつまでですか。 二次元バーコードはつくっていただけそうな感じなので、それぞれ、決まり次第ということによいですか。
	(事務局) そうですね。写真を縮小すれば何とか、場所を生み出せると思いますね。
	(高田部会長) では、11月の半ばぐらいで大丈夫ですか。そんなにはかからないですか。

	<p>(事務局) そうですね。個数にもよりますし、重複していないかどうかも見たいので、月末の調査部会までをお願いします。 メールを送っていただいた上で、調査部会で皆さんにお会いできれば、少しお話しできるかと思います。</p> <p>(高田部会長) では、調査部会の時期までに具体的なお薦めページをお伝えするということですね。</p> <p>(事務局) それはきょうの部会が終わりましたら、メールで詳細をお送りいたします。</p> <p>(高田部会長) では、お願いいたします。</p> <p>(望月委員) あと、やっぱり今回は文章が多過ぎですね。実を言うと、理想は皆さんが書かれた文章を半分に圧縮することです。そうすれば、中身がコンパクトになるため、言いたいことがつなまります。 私も文章を書く仕事していて、これが一番つらい作業であることが分かるので申し訳ないと思います。文章を長く書くことはそんなにつらくないのですが、それを半分にすることはつらいのです。しかし、書いた文章を半分にすると、いい文章が出来上がります。締め日はいつですか。</p> <p>(事務局) この後、スケジュールのお話をしようと思いますが、きょう、委員の皆さんから頂戴したご意見を基に、事務局で原稿を半分にできるところは圧縮いたします。従って、11月の上旬、中旬ぐらいに皆さまのきょうのご意見を反映した事務局修正案をお渡ししたいと考えています。 ただし、全体を縮小するため、若干編集作業が遅れる可能性があります。</p> <p>(高田部会長) では、その原稿を半分に圧縮した修正案を出していただけるということでしょうか。</p> <p>(事務局) そうですね。重複部分削除、文章の圧縮の作業は事務局で行おうと考えております。</p> <p>(高田部会長) ありがとうございます。</p> <p>(事務局) そういう形で進めて、確認については、メールをお送りする形になると思います。</p> <p>(高田部会長) 今の事務局のご説明のとおりでよろしいですか。文章を少しコンパクトにさせていただきます。</p> <p>(高橋委員) 基本的に私は、600字から700字あった原稿から余計な形容詞を除いてコンパクトにしたつもりでした。</p> <p>(望月委員) そうです。それをさらに半分にすると、とてもつらい作業だと思います。最初の文章の4分の1になるというイメージですね。</p> <p>(高橋委員) 今後は、最初から何文字以内というふうに指示してください。今回は1000文字以内ということで少し多かったですよね。</p>
--	--

(事務局)	今回は枠だけを提示してしまい、すみませんでした。
(高田部会長)	では、事務局にはご苦勞をお掛けしますが、よろしくお願 いいたします。
(事務局)	もしかしたら、予定よりも遅れるかもしれないのですが、 必ず修正案をお送りしますので、ご確認をお願いします。
(高田部会長)	そこは事務局にお任せしますので、お願いします。 今の流れからいくと、全体の配置なども相当変わってくる と思いますので、そこは事務局にお任せしたいと思います。 では、内容についてはいかがですか。最後に何か、ご意見 とかありましたら、お願いします。奥井委員、いかがですか。
(奥井委員)	「これからの緑の取組」のグレーのところはどんな感じに なる予定ですか。
(事務局)	こちらは9月の市会で「これからの緑の取組」の原案をお 示しして、今後また市会にかけて、税の部分等も含めて考え ていくという内容になります。従って、まだ最終的に決まっ てはいないのですが、最終的にActionが出来上がる時期には 載せたいと考えております。 「これからの緑の取組」が今、こういう形で進んでいます というものを載せるか、あるいは、それができましたという ものを載せるかは、発表のタイミングを含めて検討したいと いうことで、今はグレーにしております。 また、GREEN×EXPO 2027のロゴや内容も、園芸博協会等 を含めて確認をしていきたいと思っています。
(村松委員)	橋本理事長には事前に見ていただくのですか。
(事務局)	はい。実はまだ、送っていません。横浜市緑の協会の紹介 部分だけを確認をいただいているような状況です。本文は、 きょう皆さんからご意見を頂戴して、われわれで直したもの をお渡ししようと考えています。
(村松委員)	分かりました。
(高田部会長)	大体、このぐらいでよろしいですか。 望月先生、最後にもう一言、いただいてもいいですか。
(望月委員)	1号から今回の9号まで、本当に素敵なパンフレットです よね。市のいろいろな広報がありますが、いつ見てもやっぱ りこれは光っていますよね。市の広報は大体、文章がとても 多く、このような広報誌は他市にもないですね。本当にこれ はもう、まさに市民目線の広報誌だと思います。 実を言うと、私はいつも感心して見えています。素敵な写真 で、表紙がもう秀逸ですよ。本当にそう思います。それ以上 何も言うことはないです。
(高田部会長)	恐れ入ります。 では、きょうのところはこれで終わりにしたいと思います。 では、事務局からお願いします。
(事務局)	それでは、最終的に事務局として編集の大きな方向性だけ

	<p>を確認させていただきます。皆さんから頂戴した意見としては、アイコンなどを追加してレイアウト、文章量の調整、特に重複部分削除ですね。望月委員からも2分の1にということですので。</p> <p>(望月委員) いや、それを目標にということですよ。できる限りをお願いします。</p> <p>(事務局) そうですね。調整させていただきたいと思います。また、キャッチコピー、「つなげていこう、みどりのAction」という形でここに入れてさせていただきます。中面の大タイトルはこのまま、修正なしの方向で、次の案を作成したいと思います。また皆さんにお渡しした後、疑義があれば、ご意見を頂戴する形で進めたいと思います。</p> <p>また、「市民推進委員のお薦め」というコーナーを本文の中に入れるかどうかも含めて、スペースを確保できれば、裏面に枠囲みのコーナーを作るようなデザインで検討したいと考えております。大まかな修正は以上です。</p> <p>それでは、最後に今後のスケジュールです。今後の進め方はおおむね、きょう頂戴した意見に従って事務局で作業をして、最終的にデザイン委託業者へ送って、レイアウト案としてまとめます。皆さんには、いったん、10月31日の調査部会にて修正の方向性を提示したいと思っています。</p> <p>その後、実際の作業に入り、デザイナーと共にこちらの案をブラッシュアップしたものを、恐らく11月初旬から中旬にかけて提示したいと考えております。文章量の修正等がありますので、少し時間がかかった場合は11月中旬になってしまうかもしれません。</p> <p>11月初旬から中旬に皆さん宛てに案をメールでお送りします。その後、12月上旬ぐらいまでにメールで適宜、ご意見を頂戴したいと思います。</p> <p>そして、版下の年内完成を目標とし、年明けには発行に向けた手続きを進め、年度内に発行します。私からは以上です。</p> <p>(事務局) それでは、横浜みどりアップ計画市民推進会議第55回広報・見える化部会を終了いたします。本日は貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>(一同) ありがとうございました。</p>
<p>資料 ・ 特記事項</p>	<p>次第 資料1 みどりアップAction9号レイアウト案</p>